

未更毛川の
ゲンジボタルと
田んぼの
ヘイケボタル

平成22年度安居地区ホタルマップ

発行 平成22年 11月 20日
安居公民館環境講座「安居ホタル物語」・安居公民館

記号の見方

(H21. 5.18~6.28)

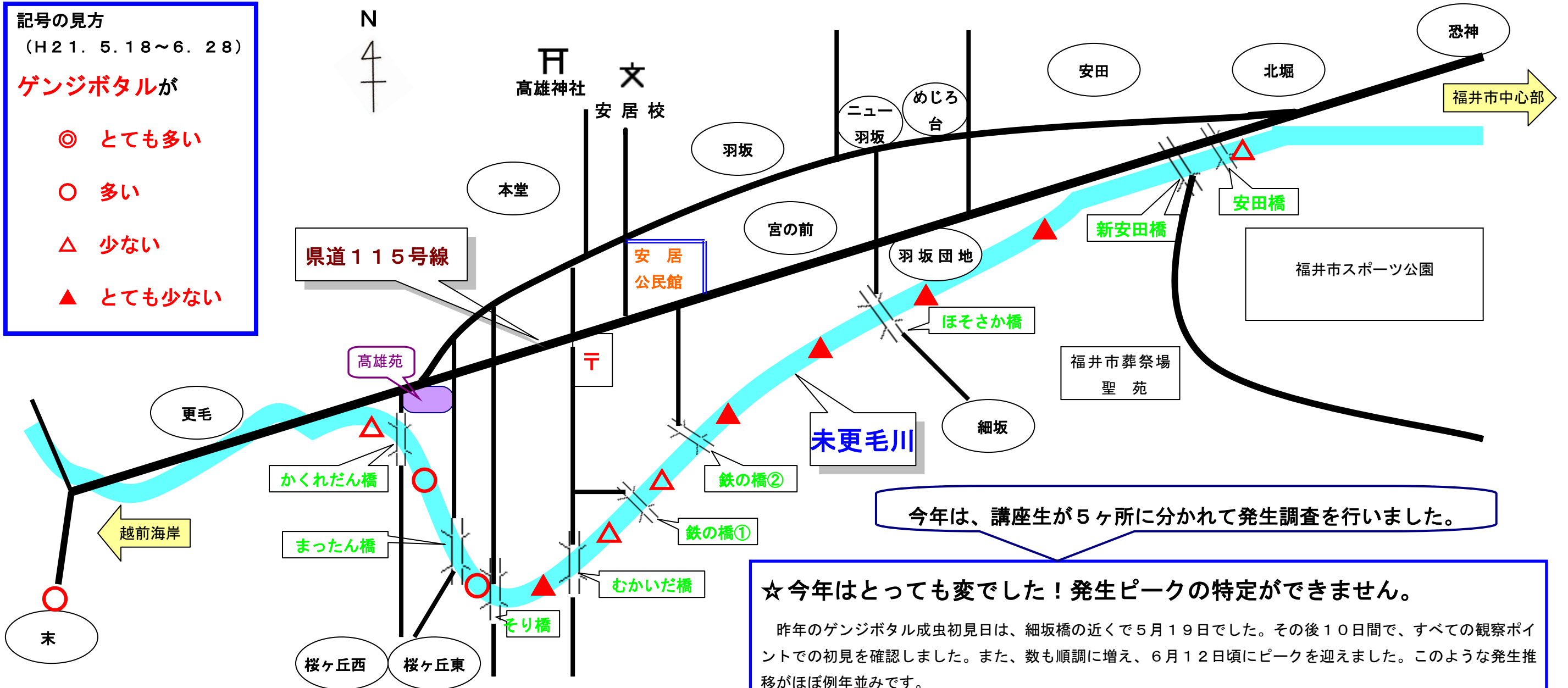
ゲンジボタルが

◎ とても多い

○ 多い

△ 少ない

▲ とても少ない



今年は、講座生が5ヶ所に分かれて発生調査を行いました。

☆今年はとても変でした！発生ピークの特定ができません。

昨年のゲンジボタル成虫初見日は、細坂橋の近くで5月19日でした。その後10日間で、すべての観察ポイントでの初見を確認しました。また、数も順調に増え、6月12日頃にピークを迎えました。このような発生推移がほぼ例年並みです。

ところが、今年は鉄の橋①付近で5月28日に見つけた後なかなか数が増えず、講座生一同「少ないのお～」が「こんばんは。」のあいさつ代わりになっていました。

一番数が多かった「かくれだん橋」から「まったん橋」の間の場合、初見が6月3日、最もたくさん飛んでいたのが6月21日で約160匹でした。

今年の発生調査の結果、次のようなことがわかりました。

1. まったん橋からかくれだん橋付近までの発生が、比較的多かった。
2. そり橋から下流は、かつてないほど数が少なく、なんらかの原因があるか、もしくは自然的減少かがわからないが、来年の発生にかなり影響するのではないと思われる。
3. 羽坂団地に沿った流域は、昨年9月に浚渫工事(川底の泥上げ)をしたが、わずかに残された中洲で成長したと思われるゲンジボタルの成虫が、30匹程度発生した。生命力の強さに、メンバー全員感動！

☆ヘイケボタルの発生状況について

ヘイケボタルは、主に田んぼに住んでいます。羽化はゲンジボタルと同時ぐらいに始まりますが、長い期間、見ることができます。

7月中旬に、旧県道から北側に広がる本堂の田んぼの畔で、非常にたくさんのヘイケボタルが光っているを見つけました。また、羽坂の田んぼでも、8月初旬に見つけました。

今年度はマップ上に記載しませんが、安居には、ヘイケボタルが生息できる田んぼが、まだまだあるんですね。

～未来へ残そう ホタルを育む 未更毛川～

「安居の里を守る会」に参加しませんか。
ホタルをきっかけにし、安居の自然と人との共生を
考えましょう。

☆ ホタルを見に行く時は、必ず守ってね。

1. 大きな声や音は出さない。・・ホタルがおどろくよ！車で農道へ入らないでね。
2. ホタルをライトで照らさない。・・ホタルは光がきらいです！カメラのフラッシュもね！
3. ホタルを決して持ち帰らないで！・・ホタルは、捕まえても長くは生きられません。
手に乗せてよく観察したら、放してあげてね。
4. 草むらには、危険な生きものもいるよ！・・安易に手を入れないでね。
できれば長靴を履いて行きましょう。

《講座生から一言》

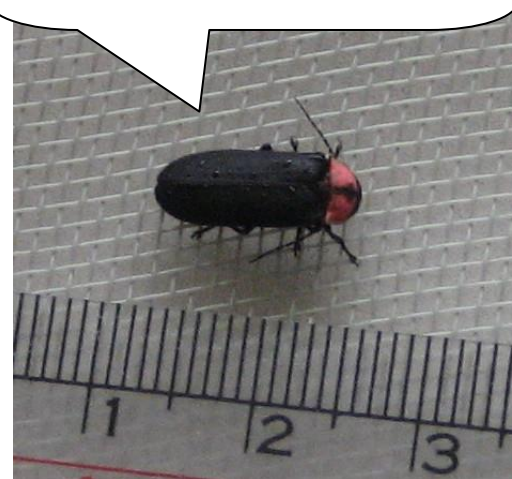
○未更毛川の清掃に参加したのが縁で、講座に加わった。ホタルを鑑賞する会だと思っていたら、調査隊だとわかってビックリ。ホタルは毎年見ていたけど、今年はいつもより少なかった。ゲンジとヘイケの見分け方や光る時間の違い、成虫は夜露を飲むだけなど、違う角度からホタルのことを知りとても有意義だった。今後も安居でホタルが育っていくように見守りたいと思った。

○かなり遅い成虫の出現で、数も少なく寂しかったが、小さな光を見て、命の尊さや自然の変化など、様々なことを考えさせられた。

○5月10日頃から、わくわくしながら未更毛川沿いを歩いた。やっと出てきた時には「いたー。」と歓声。ところが1週間位いで姿を消し、いつがピークかわからずじまい。こんな年もあるのかと残念だった。でも嬉しいことに、去年、川底の土砂をさらう工事をした場所で、ほんのわずかに残された草むらがあり、そこで30匹位のホタルが飛び交うのを見た時はとても感激した。ホタルの命ははかないけど、生命力の強さには感心した。来年に期待したいと思う。

○講座の会則が整備され、「安居の里を守る会」が発足した。講座生とホタルレンジャーの会員数が増えてきたのも嬉しい限り。ホタルが生育するのに適した環境を守るのは、掛け声ばかりでは決して実現できない。今年は春先に気温が低かったせいか、ホタルの数は昨年よりかなり少なく、気象の影響を強く受けると感じた。生態系を変えない範囲で幼虫の飼育と放流を繰り返す活動が必要と思う。年間を通じての飼育、観察、調査、マップ作成、草刈り、堆積物の環境整備など、どれも地道な活動である。そのために、地区内に多くの理解者や協力者が出てきてくださることを願う。

公民館の飼育ケースで羽化した
ゲンジボタルのオス
(撮影H22. 6. 7 安居公民館)



飼育中のヘイケボタルの幼虫が、集団でカワニナ
を食べている。ゲンジボタルの幼虫は主にカワニ
ナを食べるが、ヘイケボタルの幼虫はタニシやモ
ノアラガイなども食べる。

(撮影H22. 10. 24 安居公民館)



☆ホタルの光は、やすらぎを与えてられています。

みんなで大切にしようね。

さて、ここで質問です。みんな、わかるかな？

1. ゲンジボタルの幼虫は、何を食べますか？
2. 安居には、なんというホタルがいますか？

こたえは、マップのどこかにかいてあるよ。

